

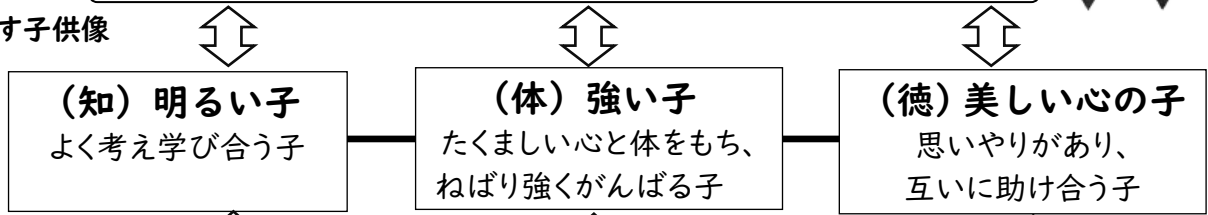
令和8年度 学校運営のグランドデザイン

学校の教育目標



明るく、強く、美しい心の子供の育成

目指す子供像



重点目標・重点内容

| 確かな学力の育成 | 健やかな体の育成 | 豊かな心の育成 |
|--|---|--|
| 学ぶ意欲をもち、共に学び合う子供を育てる | 体力つくりと心身の健康・安全に努める子供を育てる | 互いのよさを認め、よりよく生きようとする子供を育てる |
| <ul style="list-style-type: none"> ○問題発見・解決能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・子供の問題(課題)意識を高めるための手立ての工夫 ・子供が自己調整しながら学習を進めることができるようにするための手立ての工夫 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生きて働く知識・技能の確実な習得 ・思考力・判断力・表現力等の育成 ・学ぶ意欲を向上させる授業づくり ・個に応じた指導・支援の充実 ・生徒指導機能の充実と学習規律の確立 ・ICTの効果的な活用 ○非認知能力育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の見取りとフィードバックによる意識付け ・自ら伸ばそうとする取組の工夫 ○評価を基にした学習改善や指導改善の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化 ・年間指導計画の見直しと改善、教科等横断的な指導 ○家庭学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進 ・AIドリルの活用 ・望ましい学習習慣の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ○課題に基づく体力の向上策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力調査結果等の活用 ・運動の楽しさや喜びを味わえる環境づくり ・「元気いっぱい運動」「全校遊び」の推進による運動の日常化 ○「とやまゲンキッズ作戦」の調査結果の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康状態の把握と改善への取組 ○望ましい生活習慣の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・早寝、早起き、朝ごはん ・メディアコントロールデー(テレビ・ゲーム時間等の抑制) ・ネットルールづくりの推進 ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣の定着 ○安全な環境づくりと自ら安全に行動する能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や自転車教室等における実践的指導 ・緊急時の対処法を身に付けることができる避難訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○いのちの教育を核とした教育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・認め励まし合う機会の充実 ・喜びや悲しみ等の感情を仲間と共有する機会の設定 ・いのちを守るための知恵の習得と態度の育成 ○一人一人を大切にす学級経営 <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情・自己有用感を高める指導の工夫(居場所づくり・絆づくり) ・積極的な児童理解の推進(面談、各種調査) ○人権教育、道徳教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流・縦割り活動、ボランティア活動の推進 ・感謝の心や他者を思いやる心の育成 ・多様性を認める心の育成 ・人権カレンダーの活用 ・いじめやネットトラブルの未然防止 ・自己選択・自己決定の場の設定による生徒指導の充実 ○花とみどりの少年団活動、栽培活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーランド等を通じた生命尊重、自然愛護の精神の醸成 |
| 4A運動の推進(あいさつ、あんぜん、あとしまつ、あかるくはきはきと) フラワーランドの活動 | | |
| アクションプラン1 本に親しもうとする態度の向上 目標達成率 全校児童の80%以上 | アクションプラン2 基本的な生活習慣における自己管理能力の向上 目標達成率 全校児童の80%以上 | アクションプラン3 あいさつなどのほかほか言葉を重点とした「4A運動」の推進 目標達成率 全校児童の80%以上 |

対話を通して仲間と関わり、共に学びをつくり上げる子供の育成

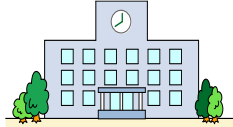
目指す学校像 つながりあい 笑顔が輝く学校

- ◇教職員 「働きがいのある学校」
- ◇子供 「安心して学べる学校」
- ◇保護者 「信頼できる学校」
- ◇地域の方々 「自慢と思える学校」

目指す教師像

- ・豊かな人間性を身に付けた教師
- ・子供のよさや可能性を引き出す教師
- ・子供の声に耳を傾け、心を通わせる教師
- ・仲間と協力し、よりよくしようと創意工夫する教師

つながり
愛



家庭や地域と共に進める学校づくり

- 適時適切な情報発信、早急で確実な連絡体制
(ホームページ、各種たよりの配付、安全メールの配信)
- コミュニティ・スクールを生かした教育活動の推進
(地域の教育力・教育資源の活用、体験活動の充実、地域行事への参加や地域との交流活動の促進)
- 家庭や地域との連携の充実
(家庭訪問、個別懇談会、若栗児童クラブ)
- 学校評価を基にした学校運営の改善
(学校評価の公表、保護者アンケートの活用)

幼保・小・中の連携

幼児・児童・生徒の成長を見通した指導に務め、円滑な接続と一貫した教育を実現する。

運営方針

- 教職員が元気で、笑顔で働ける学校
一人一人の得意・専門性を生かした体制づくり、
「助けて、教えて、困った」が言える温かい関係づくり、
「報告・連絡・相談・確認」「共通理解・共通行動」、
キャリアステージに応じた資質能力の向上、OJTの充実、
働き方改革
- 学校教育の充実
主体的・対話的で深い学びの実現やICTの効果的な活用による確かな学力の育成、規則正しい生活リズムやネットルールづくりの推進による健やかな体の育成、
人権教育・いのちの教育を大切にしながら豊かな心の育成
- 安心・安全な学校
いじめ見逃しゼロ・体罰ゼロ、個に応じた指導の充実
(不登校、特別支援教育)、事件・事故の未然防止、早期に適切な対応、報告・連絡・相談・その後の確認の徹底、予測不可能な時代の教育活動

やさしい子供が育つ学校



チーム若栗・働きがい

校訓「寛栗」

「寛」=広い心をもって、相手にやさしく
「栗」=自分に厳しく